

躍進する 第699回
女性陣

マイシン



辻社長と平野さん(右)

には、その頃配車業務を担っていた辻氏の部下として現場補助で復職。それまでとはまったく違い、ドライバーさんとの距離が一気に近くなった」と平野氏は総務時代と比較したギャップと変化にふれる。

辻氏のもとで現場に携わりながら経験を積んだ後、平成28年には管理部へ転属。異動を決めた辻氏は「現場と

ドライバーをよく知り、かつ総務の仕事もこなしてきた彼女が適任だと思った」と経緯を説明。平野さんは現

在、点呼担当者の立場でも力を発揮する。点呼を続けていく過程では「事務所に入りにくい時がある」とするドライバーの意見に対応して、そのための雰囲気づくりに尽力。

「積極的に声がけして距離を縮められるよう心がけた」という姿勢で交流をすすめる、今では前向きな変化を実感すると話す。

将来については「皆が健康で長く働ける会社づくりに貢献したい」と述べて、また社長である辻氏に対しては「厳しい言葉で指

導を受ける時もあるが、最後までしっかりと向き合ってくれるので、こちらも素直な心で話が聞ける」と心情を明かす平野さん。長きに渡って見守り続けてきた辻氏は、そんな平野さんを「会社にかかせない人物」と強調した上で、「彼女がいるおかげで管理部が変わり、ひまわりのような笑顔で点呼も変わった。これまでよく頑張ってくれたし今も頑張っている。戦友のような存在で、さらに上を目指してほしい」と語り、かけがえのない仲間にかからのエールを送っている。

(朝妻聖一)

成長支えた貴重な存在

樹氏とはいわば同期で、「最初からほかの人とは違い、強い発信力を感じた」と当時の様子に言及。そんな感覚を具現化していくように、以降の辻氏はドライバーから配車、管

理職を経て代表にまで駆け上がることもなる。総務での仕事をこなしつつ26歳で迎えた結婚後は2人の子宝にめぐまれ都度産休を取得し、1回目の産休明け

ひまわり便のマイシン(愛知県豊橋市)で管理部に所属する平野昌代さんは短大卒業後の平成7年4月に入社。これまで長きに渡って同社の変遷や成長に関わってきた。入社した年の8月にドライバー面接に訪れた現代表を務める辻直